

令和7年度

委員会だより

NO. 3

組織・連携委員会編

北海道PTA連合会

令和7年12月6日（土）に今年度最後の第3回委員会が開催されました。

《今年度の取組や研究のまとめと次年度の方向性等についての協議》

【成果】

- *各地区の状況を交流することで、それぞれの地区の課題や悩み、今後の組織のあり方についてお互いに意見を出し合い、今後どのようにPTA活動をすすめていけば会員のためにいいのかを討議できた。また、他地区のすぐれた実践について学び合い、それぞれの地区に環流できた。
- *令和8年度提言推薦に向けて、昨年度実施した単Pむけのアンケートを生かしつつ、委員が所属する地区P連の状況も踏まえながら、提言にふさわしい実践を洗い出せた。
- *会員が自分事として参加できるように組織の見直しや改編をし、従来のあり方に縛られない単Pを作っていこうとする動きが見られ、会員が負担を感じずに楽しくPTA活動をするためにはどう工夫が必要か考える機会となった。
- *持続可能なPTA活動というのはどういうものかについて考えるきっかけづくりができた。

【課題】

- *学校や先生と保護者の交流が少なくなっている現状を打開する取組の必要性。
- *コミュニティ・スクールとPTAとの関わりの成功例の共有。
- *PTA組織のあり方についての検討。
- *地域の人々や地域行事に対するPTAの効果的な関わり方。
- *持続可能なPTA活動についてさらなる討議の必要性。
- *子どももいっしょに楽しめるPTA企画のあり方と共有。

【次年度の方向性】

- *そもそも持続可能で魅力あるPTA組織や活動とは何かを討議する必要性。
- *すぐれたPTA活動や日常実践の集積と共有。
- *コミュニティ・スクールとPTAの効果的な関係性の模索。
- *会員が積極的に参加したくなるPTA活動のあり方。

《令和8年度道南大会提言の推薦について》

- *昨年度実施のアンケートをもとに、組織の見直しをしたり地域との協力連携をしたりした優れた実践を洗い出し、さらに全道大会の意味合いからここ数年提言されていない地区についても考慮していくことになり、いくつかの単Pの候補を確認した。

《参加した委員から各地区の研究大会の交流と、実践や情報の交流》

- *地区を3つにわけて、事務局を輪番にし、持続可能な組織運営をしている。
- *いくつかのテーマに分かれ、保護者が提言者となる方式をとった。
- *地区P連としての研修会事業の開催の難しさ。
- *大会の日取りが、農繁期のずれを考慮しなくてはいけなくなった。
- *義務教育にAIをどのように導入するか話題となった。
- *大会を別組織との共催にしてみたが、課題も残った。
- *研究大会や研修会に保護者を参集させる方法。
- *大会の分科会では内容のある協議が行われた。
- *地区内の市町村の交流が図られた。
- *子どもも参加できる研究大会の模索を。



- *委員の皆様には、お忙しい中、委員会へのご出席、ご意見をいただき、ありがとうございます。また、各地区での活動もありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

- *「委員会だよりNO. 3」は道P連のホームページ「組織・連携委員会だより」に掲載されます。

北海道PTA連合会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目

S T V時計台通ビル6階

TEL (011) 251-6937 FAX (011) 210-0929

Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp